

## 多くの人を訪れるまちへ向けて

4月6日、市役所で本市とJAF(一般社団法人日本自動車連盟)とで、「観光協定」を締結しました。

この協定により、JAFの会員向け機関紙やホームページを通じ、本市の観光施設や特産物などの情報が発信される予定です。ドライバー向けサービスを展開するJAFと連携することで、より多くの観光客が行田を訪れることでしょう。



## 行田版エコノミックガーデニングの成功の鍵は

3月20日、商工センター401研修室でエコノミックガーデニング講演会が実施されました。

エコノミックガーデニングとは、地域経済を「庭」、地元の中小企業を「植物」に見立て、地域という土壌を生かして地元の中小企業を大切に育てることにより地域経済を活性化させる政策のことです。「地域経済を救うエコノミックガーデニング」と題した今回の講演会では、拓殖大学政経学部教授の山本尚史さんが講師を務め、この政策の仕組みや成功に導くヒントなどを分かりやすく解説しました。山本さんは「行田版エコノミックガーデニングを構築するためには、民間の共同主体者・寛容なリーダーシップ・進取の精神を発揮した行動が必要である」と強調し、受講生にエールを送っていました。



## 春まつりで優美な踊りを披露

4月17日、市役所前公園通りで行田春まつりが開催されました。

恒例の植木市をはじめ、さらさら獅子舞、よさこいソーランなどを楽しもうと今年も多くの人でにぎわいました。中でも、観客の注目を集めたのが、新・行田音頭。出演者が優美な踊りを披露すると、会場からは大きな拍手が送られていました。



## 楽しい小学校生活に胸がドキドキ

4月8日、市内16校全ての小学校で入学式が行われました。

今年度、13人が新たな仲間に加わった星宮小学校。保護者や在校生に見守られながら入学式に参加した新1年生は、自分の名前が呼ばれると「はい」と体育館中に響き渡るほど元気な声で返事をしました。瞳をキラキラ輝かせながら、新たなスタートを切った児童らは、これから始まる楽しい小学校生活に胸を躍らせている様子でした。



## 春の香り漂う行田の街を自転車に乗って散策

3月22日、さきたま古墳公園や古代蓮の里など市内の観光スポットを自転車で巡る、「ポタリング行田2015」が行われました。

このイベントは「自転車で乗りながら行田の魅力を再発見してほしい」という思いから、行田市自治会連合会が初めて開催したものです。設定されたコースは、30キロメートルコースと20キロメートルコースの2種類。総勢145人がそれぞれのコースにエントリーし、ゆったりとしたペースで春の香り漂う行田の街を散策していました。



## 一味違った風情のある桜を満喫

4月4日、水城公園市民広場で桜ボンボリまつりが開催されました。

毎年、春に行われるこの祭りでは、おいしいお茶や和菓子が振る舞われ、満開の桜を満喫することができます。しかし、この日はあいにくの雨。それでも来場者は、雨のしずくで頭を垂れる桜に一味違った風情を感じているようでした。



## 華やかな和裁作品80点を展示

4月4日、コミュニティセンターみずしろギャラリーで「和裁 繭の会」の作品展示会が開催されました。

着物や裁縫が好きなメンバーが集い、毎月活動を行っている同会。今回の作品展示会では、新品の反物を仕上げたものや先祖代々引き継いだ着物をアレンジしたものなど約80点が並びました。来場者は作品をじっくりと見学するとともに、作家との交流を楽しみながら和の雰囲気を堪能していました。

